

大しめ縄を据



①竹駒神社でしめ

め縄を掛け替える神事があった。
大しめ縄は長さ14段、重さ60kg、中央の太い部分の直径は30cmに上る。境内にある神田「徳徳田」で今年

行く年に
16東北・歳末点描

宮城県内で初めて解消され、3カ所にあった仮設住宅計384戸が撤去された。市は「復興のトップラナー」として、現在は沿岸部で津波を防ぐかさ上げ道路整備などに取り組んでいる。土田泰士権禰(宣39)

は「一日も早い復興を祈願するなど、初詣にお出掛けいただきたい」などと話す。

宮城・カキ出荷休止

雄勝湾除く10海域陽性

人のノロ流行影響か

宮城県内の海域で生食用カキからノロウイルスが検出され、県漁協が出荷を休止した問題で、県内で流行している人のノロウイルスが影響したとみられることが21日、分かった。県漁協は検査対象の県内11海域のうち、石巻市の雄勝湾を除く10海域でノロウイルスの陽性反応を確認した。

県水産業基盤整備課によると、感染者の嘔吐物などに含まれるウイルスは一般的に下水処理を施しても完

全に除去できず、一部が海に流出してカキに蓄積された可能性が高いという。県内では11月からノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行。県疾病・感染

症対策室によると、5〜11日の1医療機関当たりの患者は41・44人で、全国平均の19・45人を大きく上回った。2006年と10年にも流行したが、今年は過去と

比べてかなり多いという。県は手洗いの徹底や、感染者が嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒するなどして感染拡大を防ぐよう呼び掛けている。

県漁協は11海域で毎週検査を実施。19日の検査で雄勝湾を除く10海域で陽性反応があり、県漁協を通じて出荷分を休止した。26日の検査結果を踏まえて今後の対応を検討する。

移動制限区域指定は防疫措置が完了した5日から21日間経過するまで継続し、解除は27日午前0時の見通し。県畜産課の担当者「収束へ一歩前進した。関係者には引き続き消毒、鶏舎補修の徹底をお願いしたい」と話した。

最初の発生農場から5kmの地点で養鶏場を営む坂本佐兵衛さん(64)は「感染拡大が食い止められて安心した。県の対応が素早く、移動許可申請後は通常営業ができて損失を避けられた」と語った。

青森・鳥インフル 搬出制限区域を解除

青森市の家禽農場2カ所の食用アヒル(フランスガモ)から強毒性のH5N6型高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された問題で、青森県は21日、2農

場から半径3km圏の移動制限区域内の3農場でウイルスの陰性を確認し、3〜10km圏で指定した搬出制限区域を解除した。家禽の

区域を解除した。家禽の個体や消毒・製品化していない卵などが持ち出せ

と語った。

雪崩巻き込まれ 78歳男性が死亡

秋田・東成瀬の山中 21日午後2時半ごろ、秋田県東成瀬村橋川、農業高橋信夫さん(78)が自宅近くの山中で雪崩に巻き込まれた。高橋さんは約1時間後に救助されたが搬送先の病院で死亡が確認された。

横手署によると、高橋さんは同日午後1時ごろ、同じ地区の40代男性と、地区が引いている沢の水量を確認するために入山した。40代男性にけがはなかった。湯沢市消防本部による

と、雪崩約50段。雪があつた台は19日に雪崩注た。▼あすは低気圧が通過から24日を中心に大降雪による交通気象庁は日にかける過し、24日島から東白で大気のはなり、落葉性がある。

気象庁は21日、今年の日本の平均気温が平年を0.88度上回り、1898年の統計開始以来、過去最高になるとする速報値を発表した。世界の年平均気温も平年を0.46度上回り、3年連続で過去最高を更新する。

気象庁によると、地球温暖化に加え、2014年夏から16年春まで続いたエルニーニョ現象の影響があったと分析。日本で突出して気温の高い時期があった訳ではなく、年間を通じ、全国的に平年より低い時期があった。

日本の平均気温は、1990年代後半から2010年代前半にかけて、約1.5度上昇した。これは、地球温暖化の影響によるものと見られる。

と、雪崩約50段。雪があつた台は19日に雪崩注た。▼あすは低気圧が通過から24日を中心に大降雪による交通気象庁は日にかける過し、24日島から東白で大気のはなり、落葉性がある。